

シリーズ

樹木の増殖 接木

樹木医 田口肇男

1. 砥石の扱い方と手入れ

1) 天然砥石

前号でも述べましたが名倉砥石と呼ばれる小さい砥石で表面を平らにしてこすり砥ぎ汁を出して砥ぎます。人造砥石のように砥石を水に浸け吸水させることはよくありません。

四方の面には購入時防水のためニスなどの塗料が塗布されておりますが、あらためて自分で塗りなおしたほうが良い。

次に天然・人造砥石共通なことですが、表面は平らにしておくこと、もし凹凸が出来た場合は金剛砥石などで研磨して平らにします。

表面の四方の角は直角でなく少し 45 度程度に角をおとしておきます。直角ですと研ぐときに刃こぼれがしやすくなります。使い終わったらきれいに洗い乾燥した状態にしておきます。



(天然砥石専門店 浅草 といし屋)

2) 人造砥石

天然砥石と違うことは前記してありますが使用前に十分に吸水させておきます。

どの程度吸水させるかは砥石を水に入れ

て最初、表面から砥石内部の空気が細かい泡となって出てきますが、それがほぼ出てこなくなればよいでしょう。常時使用している場合それほど時間はかかりませんが新規の場合は 30 分程度です。吸水が不十分ですと頻繁に水を補給しなければなりません。

使用後ですが冬季水分を含んだ砥石を屋外に出しておくとも砥石内部の水分が凍り膨張してひびが出来ますので注意しましょう。

2. 切出し

接木に使用する刃物ですが小刀、ナイフとも呼ばれますがここでは片刃の切出しとします。刃は両刃と片刃とがありますが接木には片刃を使います。両刃ですと切面が平らになりません。片刃には右利きと左利き用とがありますので選んでください。

品質もいろいろありますがなれると少し研ぐと良し悪しが分かるようになります。

刃がよく切れることは接木に大切なことです。従ってよく切れるように砥ぐことも大切ですが体得するまでは多少時間がかかるでしょう。

研ぎ方を文章でうまく説明することは困難ですがポイントは

1) 姿勢を正しく、砥石を固定する

砥ぎやすい姿勢にして、固定した台に砥石を載せる。普通台と砥石の間に木綿の布を敷き、水を含ませれば吸着して簡単に固定される。

2) 切出しの裏・表

平らで、刃金が打ちつけられているほうが裏といいです。まず裏を完全に平らに砥ぎ、次に表を砥ぎ刃付をします。上手な人の作業をみて体得しましょう。